

## 2. プレキャスト製品の確認要領

### 〔1〕適用範囲

この基準は、岡山県土木部関係の行う工事に使用するプレキャスト（コンクリートブロックを除く）製品の製造についてその管理の基準を定めたもので、確認は、注文者（購入者）が行う。

なお、本確認要領による確認を実施したものについては、現場での出来形管理のうち、現場における施工延長以外の項目は、適用除外とする。

### 〔2〕総 則

#### （1）J I S 製品

- ① J I S 製品を使用する場合は、〔4〕に示す外観確認を除いて、他の確認は省略することが出来る。
- ② 請負業者は落札後セメントコンクリート二次製品を選定し、日本工業規格表示許可書及び表示許可品目の写しと使用報告書（別冊様式集）を提出すること。
- ③ 現場においては、J I S マークを確認できるよう設置すること。

#### （2）J I S 規格にない一部製品について

- ① 岡山県コンクリート製品技術協会規格の製品を使用する場合は、〔4〕に示す外観確認を除いて、他の確認は省略することができる。
- ② 岡山県コンクリート製品技術協会規格の鉄筋コンクリートぶた、芝台ブロック、 $\pi$ 型ブロック及び角フリューム、水路用L型、組立水路、大型フリューム、等厚側溝については、当協会認定書（別冊様式集）と使用報告書（別冊様式集）を提出すること。
- ③ 現場において当協会マークを確認できるように設置すること。

#### （3）J I S 製品以外

##### ① 施工前（承認）

使用（承諾）しようとする製品については、当該製品の製造前少なくとも、1ヶ月分の品質、出来形資料を求め〔3〕に定める基準に照らし、満足すれば、購入者が現地で行う品質及び出来形（計状寸法）確認を省略し、製造者が工場で行う管理資料の提出に換えることが出来る。

なお、当該製品の製造前1ヶ月分の資料の提出が困難な場合は、監督員と協議し、他の製品の管理記録に換えることが出来る。

- ② J I S 製品以外の製品で前記（2）②以外の製品を使用する場合は、請負者から工事箇所ごとに承認願（別冊様式集）を提出させ、上記基準により審査すること。

##### ③ 施工中

品質・出来形資料は、最終納入ブロックの製造月日まで1ヶ月毎とりまとめて提出させ、随時確認を行うものとする。

なお、外観確認は、製品納入の都度〔4〕により行うものとする。

### 〔3〕J I S 製品以外の確認基準

#### （1）品質管理・出来形管理

- a. 材料の品質管理・出来形管理は、類似のJ I S 製品の基準により行うものとする。

ただし、これによりがたい場合は、監督職員と協議の上決定するものとする。

#### 〔4〕外観確認

使用上有害な傷、ひび割れ、欠け、反りなどがあってはならない。

様式(1)

測定期間 自 年 月 日 至 年 月 日	(出 来 形 質) 管理図表 試験の大きさ又は間隔	主任監査員 監査員 監査員	製造者 測定者
日 月 年			
検査結果の記入欄 (Grid area)			
記 事			

様式-(2)

x-R管理図データシート

主任監督員	監督員	監督員
-------	-----	-----

名称	工事名			測定	自	年月日
品質特性	出張所名			期間	至	年月日
測定単位	日標準量			請負者		
規格	上限	試料		現場代理人		
限界	下限	大きさ	間隔	測定者		
設計基準値	作業機械名			製作者		

測点又は 年月日	試験 番号	測定値					平均	範囲 R				項目	$\bar{x}$	$\bar{R}$		
		$x_1$	$x_2$	$x_3$	$x_4$	$x_5$	計	$R_2$	$R_3$	$R_4$	$R_5$					
	1															
	2															
	3												平均			
	4												個数			
	5												小計			
													累計			
	6															
	7															
	8												平均			
	9												個数			
	10												小計			
													累計			
	11															
	12															
	13															
	14															
	15															
	16															
	17															
	18												平均			
	19												個数			
	20												小計			
													累計			
記事							$n$	$d_2$	$d_3$	$A_2$	$D_3$	$D_4$				
							2	1.128	0.853	1.880	—	3.267				
							3	1.693	0.888	1.023	—	2.575				
							4	2.059	0.880	0.729	—	2.282				
							5	2.326	0.864	0.577	—	2.115				

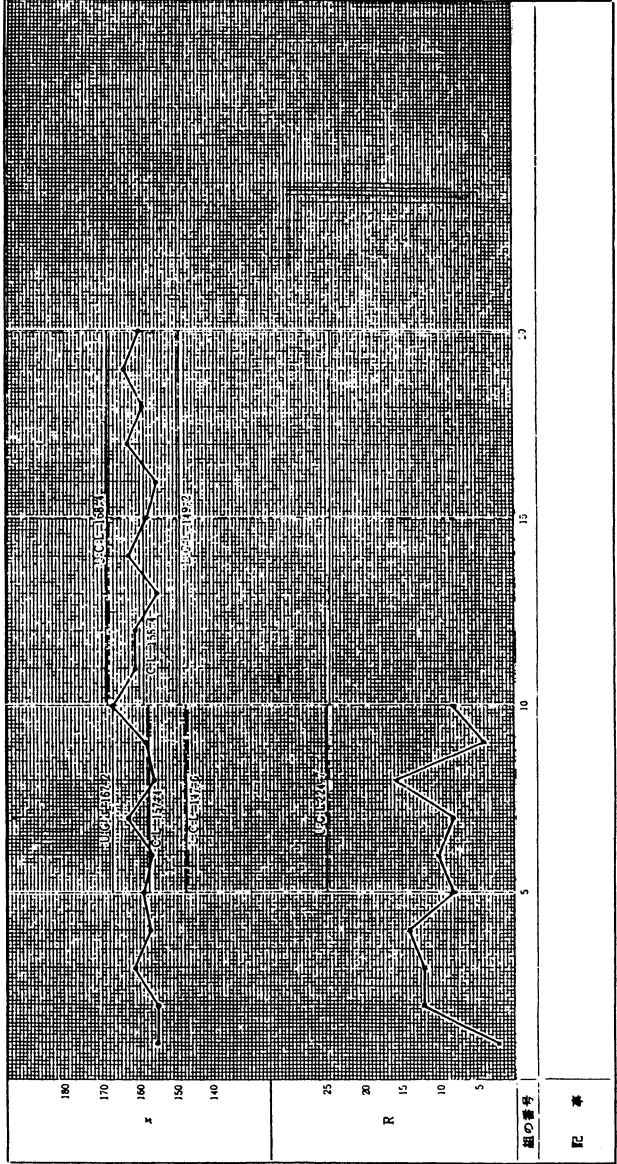
- 〔注〕
- 品質特性，測定単位は，施工管理基準により記入する。
  - 規格限界，設計基準値は施工管理基準，設計図書，仕様書に定められた値を記入する。
  - 管理限界線の引き直しは 5 + 5 + 10 + 20 + 20方式による。

- 〔備考〕
- 管理限界線計算のためのデータの区間を示す。  
... 上記の管理限界を適用する区間を示す。
  - 21組～40組までは別に新しいデータシートに記入する。以下20組ごとに同様とする。

様式(3)

一 X - R 管理図

計基標準値	160°	工率	名	〇〇運格舗装工事	事務所及出張所名	〇〇出張所
名称	トベカ	日額	作業量	146t/H	測定期間	年 月 日
特性	配合物組成	規格限界	最大	180°	測定者	年 月 日
測定方法	C	試料	最小	140°	現場代理人	年 月 日
作業機名	日記装置	間隔	大きさ	1回1測定	測定者名	年 月 日
	40t/H全自動カウント			1日6回(1時間ごと)		年 月 日



(注) 1. 管理図は、標本平均値とR管理図マニフォーストから記入する。  
2. 記事欄には、異常原因、その発生回数等を記入する。



様式-(5)

骨材のフルイ分け試験(JISA1102)

試験月日 \_\_\_\_\_

試料採取地名 \_\_\_\_\_

主任 監督員	監督員	監督員

製造者 \_\_\_\_\_

印

測定者 \_\_\_\_\_

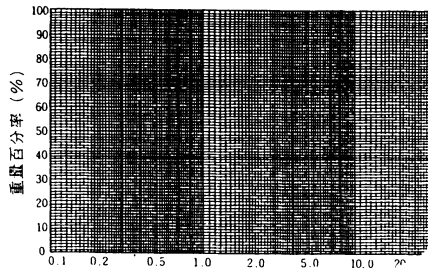
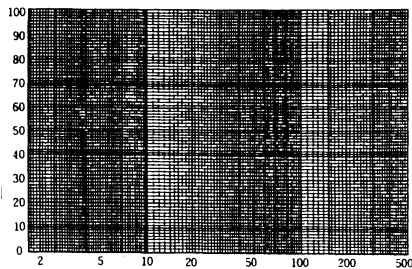
印

粗 骨 材				細 骨 材			
フルイ目 の 開 き (mm)	フルイ残留 重 (kg)	重量百分率 (%)	累 加 重 量 百 分 率 (%)	フルイ目 の 開 き (mm)	フルイ残留 重 (g)	重量百分率 (%)	累 加 重 量 百 分 率 (%)
150							
150 100							
100 80							
80 60							
60 50							
50 40				10			
40 30				10 5			
30 25				5 2.5			
25 20				2.5 1.2			
20 15				1.2 0.6			
15 10				0.6 0.3			
10 5				0.3 0.15			
5			100	0.15			100
合 計		100		合 計		100	

粒 度 曲 線 図

(粗骨材)

(細骨材)



様式-(6)

骨材の単位容積重量試験 (JISA1104)

主任 監督員	監督員	監督員

試料採取  
地 名 \_\_\_\_\_

製造者 \_\_\_\_\_ ㊟

測定者 \_\_\_\_\_ ㊟

測定 年月日	天候	容器 + 試料の 重さ (kg)	容器の重さ (kg)	試料の重さ (kg)	単位容積重量 = 試料の重さ / 容 器の容積 (kg/m <sup>3</sup> )
					標準単重
					輕盛単重
					標準単重
					輕盛単重
					標準単重
					輕盛単重
					標準単重
					輕盛単重
					標準単重
					輕盛単重
					標準単重
					輕盛単重
					標準単重
					輕盛単重

(A 4 判)

様式-(7)

細骨材の表面水量試験 (JISA 1111)

主 監督員	任 監督員	監督員	監督員

試料採取  
地 名

製造者

☺

表面乾燥飽和状態の吸水量  $W =$  %

測定者

☺

測定 年月日	天候	$W_s$ (g)	$V_1$ (cc)	$V_2$ (cc)	$V_s$ (g)	$G_s$	$V_a$	$P$ (%)	$P_w$ (%)	摘要

注.  $W_s$  : 試料の重量  
 $V_1$  : 最初の水量  
 $V_2$  : 試料と水との容積  
 $V_s$  : 試料でおきかえられた水量 =  $(V_2) - (V_1)$   
 $G_s$  : 試料の比重  
 $V_d : V_d = \frac{W_s}{G_s}$   
 $P$  : 表面乾燥飽水状態に対する試料の表面水の百分率 =  $\frac{(V_2) - (V_a)}{(W_s) - (V_s)} \times 100\%$   
 $P_w$  : 表面乾燥飽水状態の吸水量(W)と表面水(P)との差 =  $(W) - (P) \%$



様式-(8)

細骨材の比重及び吸水量試験 (JISA1109)

主任 監督員	監督員	監督員

試料採取  
地名 \_\_\_\_\_

製造者 \_\_\_\_\_ ㊞

測定者 \_\_\_\_\_ ㊞

判定 年月日	天候	A	B	C	D	比重 = $\frac{(A)}{(D)}$	E	F	G	吸水量 = $\frac{(G)}{(F)} \times 100(\%)$
		(g)	(g)	(g)	(g)		(g)	(g)	(g)	

- 注. A 表面乾燥飽和状態の試料重量                      F 乾燥後の試料重量  
 B 比重ビンの最初の水のよみ                              G 水の量(E)-(F)  
 C 試料を加えた比重ビンのよみ  
 D 比重ビンのよみの差(C)-(B)  
 E 表面乾燥飽和状態の試料500g

様式-(9)

粗骨材の比重量及び吸水試験 (JISA1110)

主任 監督員	監督員	監督員

試料採取  
地 名 \_\_\_\_\_

製造者 \_\_\_\_\_ ㊞

測定者 \_\_\_\_\_ ㊞

測定 年月日	天候	A	B	C	D	比重 = $\frac{(A)}{(A)-(D)}$	E	吸水量 = $\frac{(A)-(E)}{(F)} \times 100$	
		(kg)	(kg)	(kg)	(kg)				

注. A 表面乾燥飽和状態の試料重量

B 容器と試料の水中重量(A)+(C)

C 容器の水中重量

D 試料の水中重量

E 乾燥後の試料重量

骨材試験成績一覽表

主任監督員	監督員	監督員

採取地 \_\_\_\_\_  
 粗骨材 \_\_\_\_\_  
 細骨材 \_\_\_\_\_

製造者 \_\_\_\_\_ (印)  
 測定者 \_\_\_\_\_ (印)

ふるいのき目開	ふるい残留量		累加残留量		ふるいのき目開	ふるい残留量		累加残留量	
	重量	百分率	重量	百分率		重量	百分率	重量	百分率
mm	g	%	g	%	mm	kg	%	kg	%
5 mm 以上					150mm 以上				
5~2.5				※	150~100				
2.5~1.2				※	100~80				※
1.2~0.6				※	80~60				
0.6~0.3				※	60~50				
0.3~0.15				※	50~40				※
0.15以下					40~30				
合計					30~25				
粗粒率					25~20				※
試験項目	単位	細骨材	粗骨材		20~13				
比重	-				13~5				※
標準	単重 kg/m <sup>3</sup>				5 mm 以下				
	空隙率 %				合計				
軽装	単重 kg/m <sup>3</sup>				粗骨材				
	空隙率 %				試験項目	単位	細骨材	粗骨材	
耐久性	%				有機不純物		合 否		
吸水性	%								
スリヘリ減量	%								

残留百分率	砂					砂 利								
	0.15	0.3	0.6	1.2	2.5	5	10	20	30	40	50	80	100	150
100														
90														
80														
70														
60														
50														
40														
30														
20														
10														

ふるいの目の開き (mm)

様式(11)

主任監査員	監査員	監査員
-------	-----	-----

コンクリート圧縮強度管理値( $\sigma_1$ )の決定資料							
製造者 <span style="float: right;">①</span>							
測定者 <span style="float: right;">①</span>							
設計基準強度 (kg/cm <sup>2</sup> )	180 以上	所要スランブ (cm)		水セメント比 (%)	使用セメント名		
		単位セメント量 (kg/m <sup>3</sup> )	絶対相準材率 (%)	混和剤			
粗骨材最大寸法 (cm)							
供体 製作年月日	$\sigma_1$			$\sigma_{11}$		摘 要	
	No.	試験月日	破壊荷重 (t)	圧縮強度 (kg/cm <sup>2</sup> )	試験月日		破壊荷重 (t)
計 入							
平均値 $\bar{x}$							

圧縮強度管理値( $\sigma_1$ ) =  $\frac{\text{設計基準強度 (kg/cm}^2\text{)}}{\text{伸び率}}$  = \_\_\_\_\_  
 ここに伸び率 =  $\frac{\sigma_{11} \text{ の } \bar{x}}{\sigma_1 \text{ の } \bar{x}}$  = \_\_\_\_\_

主任 監督員	監督員	監督員

<u>コンクリート、圧縮強度試験表</u>							
製造者						㊞	
測定者						㊞	
ブロックの名称							
圧縮強度管理値( $\sigma_r$ )		(kg/cm <sup>2</sup> )		材 令		7 (日)	
製作年月日	試験年月日	No.	重 量 (kg)	破壊荷重 (t)	圧縮強さ (kg/cm <sup>2</sup> )	スランブ (cm)	摘 要
		$\bar{x}$					
		$\bar{x}$					
		$\bar{x}$					
		$\bar{x}$					
		$\bar{x}$					
		$\bar{x}$					
		$\bar{x}$					

主任 監督員	監督員	監督員

出来形管理表(形状寸法、外観、重量)																
製造者 _____										⑩						
測定者 _____										⑩						
ブロックの名称		年 月 日			測定年月日			年 月 日								
製作年月日		年 月 日			測定年月日			年 月 日								
日生産個数		個			不良個数			個								
	No.	形 状 寸 法 規 格								重量管理値						
		面縦	%	±	面横	%	±	控	%	±	合端	%	±	kg	±	
測定値	1															
	2															
	3															
	4															
	5															
	6															
	7															
	8															
	9															
	10															
	11															
	12															
	13															
	14															
	15															
	16															
	17															
	18															
	19															
	20															
計	Σ															
平均値 $\bar{x}$																
範囲 $R$																
備  考																